

てんしんおおみかみ
天心大霊神

天心大霊神とは、こうこうしく、尊く、天地一切をつかさどる唯一の救いの大神にましまして、人の運命を開き起こし、神妙不可思議にて、人知を以ちて測り知ることのできざる驚くべき神秘的威力を現し、人を幸福の世界へ導き給う活ける大神と申し上げ奉る御神名であります。

ごせいであん
本部聖堂御聖殿
(左・御霊殿、右・御神殿)

—— 安心して暮らせる幸せを ——

「なぜあの人は、やることなすこと全て順調に運んでいくのだろうか？」

「なぜあの人は、あれだけ真面目に働いて、人柄も申し分ないのに、不幸なことばかりに出会うのだろうか？」

世の中を見渡してみても、こんな疑問を持ったことはありませんか？

天心聖教にはその明確な答えがあり、私たち人間が“幸せな人”になれる方法が教えられています。

なぜ“幸せな人”になれる、と言い切れるのでしょうか。

それは天心聖教が、宇宙の全てをつかさどられる神様によって開かれた宗教だからです。

本冊子をご一読いただき、その上でどうぞ天心聖教をお訪ねください。

そして、どのようなことでも神様にお願いしてください。

神様はあなたをご慈愛深くお迎えくださり、たちどころに願いをかなえてくださるでしょう。

そうは言ってもやっぱり不安……

目に見えない神様のことはもちろん、天心聖教を知らない方には、さまざまな疑問や不安があらわれることでしょう。どのような質問でも結構です。どうぞ遠慮なく本教の教師にお尋ねください。教師に面談されただけで問題が解決した、という方も大勢いらっしゃいます。

次頁より神様と天心聖教についての素朴な疑問を掲載いたしました。皆様が少しでも神様のことを知るきっかけになれば幸いです。

「神様がいらっしやるなんて
信じられません。
信じていなくても願ひ事は
かなえていただけますか？」

あなたが信じる、信じないにかかわらず、神様はあなたにとって最も分かりやすい形でご存在を現わされます。困り事が解決する、人の言葉の中に解決の道が示される、先祖の夢を見るなど、体験は人それぞれです。

ただ、どの体験にも共通していることは、神様によるお救いはおとぎ話のように不思議で、驚きに満ちていること。そして、あなたにとって最も良い結果であり、何年たっても善き結果となることに寸分の狂いもありません。

逆に、その体験が科学、哲学、知識で解明できるようなものであれば、それは人間がしたことであり、神様のみわざとは言えません。

「どのようなことでも
お願いしていいのですか？」

人が信仰するのは、幸せになりたいからで、自分の希望を満たすために信仰するのです。そして、希望を満たすには自分の力だけで足りないから、自分の力以上の結果をお授けくださいと神様に願うのです。

「神様には赤子のように祈りなさい」と教えられています。どのような願ひ事でも飾ることなく、本心でお祈りください。それが神様の御心みこころに照らして正しい願ひであれば、必ずかなえてくださいます。

そしてまた天心聖教の教師はその願ひがかなうように助言をし、あなたと共に神様をお願いいたします。

「天心聖教の神様は どのような神様ですか？」

この宇宙をお創りになられた神様で、天地一切をつかさどられるという意味の「天心大靈神様」とお呼びしています（以後、神様）。

神様はイエス誕生から約2千年後の1892年(明治25年)に本教の開祖の兄・平吉に姿を現わされました。のちに、イエスを人類に遣わされた神様であることを、神様がみずから明らかにされています。（本教の起源は10頁をご覧ください）

神様をご支配されているのは、私たちが生きている現界、ご先祖がいらっしゃる靈界、神様がいらっしゃる神界、さらに人類の過去、現在、未来まで、時間と空間を超えて無辺におよびます。

「神様のお言葉が あるのですか？」

神様と人類の接点であり、天心聖教を開いた開祖島田晴一先生は、神様からのお言葉を直接お伺いしております。

その中から「御神示」（神様のお告げ）として残されている内容は神界、靈界、現界のこと、さらに宇宙の摂理、科学の進歩、人類の未来、人間としての正しい生き方まで、ありとあらゆる事柄にいたります。

この御神示に加え、開祖の教えをまとめた「御諭し」や「神の聖旨」が本教の教えの中心であり、信徒はこれを教書として信仰を高めています。



そして霊界のご先祖と現界のあなたが、同じ神様を信仰し、いつもお互いが幸せでありますようにと祈り合うようになって初めて本当の幸福が実現します。

けれども一つだけ約束があります。
それは、ご先祖の幸せを祈ることです。あなただけの幸せを神様に祈っても本当の意味での幸せにはなれません。まずご先祖を神様に幸せにさせていただくことが、私たちの幸せへの一歩です。

また朝も、昼も、夜もお守りくださいますので、大きな安心の中で暮らすことができます。天変地異や争い事が絶えない今、このような境遇は何にも代えがたい幸せです。

神様はあなたがもともと持っている悪い運をお預かりくださり、良い運をお授けくださいます。すると不運によって起きてしまう事故、天災、争い、病気、貧乏などから遠ざかり、次第に巡り合わせが良くなってまいります。

「神様を信仰すると
どう幸福になれるのですか？」

天心聖教の起源

神様と10歳の少年

天心聖教の起源は、1892年（明治25年）に、埼玉県加須市大越に住んでいた島田平吉という10歳の少年の前に神様が突然姿を現され、そこから4年の歳月の中で数々の神秘的奇蹟が現れたことから始まりました。

開祖誕生の予言

1895年の正月のこと。平吉は、来年弟が生まれると予言し、それから13か月後の1896年2月11日に、予言どおり男の子が生まれました。

神様はその子に「晴一」と名付けられ、平吉に、

汝と別れねばならないがしかし年月がたつうちに我が使命を降す者を現す故時節を待つておられよ

とのお諭しを残されて、神界へお戻りになりました。

40年後に再び

そのときから約40年の歳月が流れ、神様は、当時東京で商売のどん底にあった晴一の前にご降臨され、

汝らに財宝を授けつかわすが故晴一の生まれた

二月十一日には必ず祭り事をせよ

とお命じになり、先物相場のお告げによって晴一とその商売仲間にも莫大な富をお授けになりました。

開教、そして今なお続く奇蹟

晴一は、これを契機として信仰の道につき、1951年（昭和26年）、晴一汝身命を賭して宗教を改革し宗教と人生に新生命を与えて世界人類を救済せよ我が守護してつかわす

とのご神命を受けて、天心聖教を開きました。それから現在に至るまで、神様は数限りない奇蹟をお現しになり、数多の人が救われ、現在もその救いはますます灼かに現わされています。

※写真は「人形劇 由来」DVDより



山小屋で大男（神様）と出会う



自宅の二階で信仰仲間と祭り事をはじめる



神様と平吉が過ごされた納屋（埼玉県加須市大越）



神様と空中飛行で深山などに行く



神様に字を教えていただく

神様は偉大なる御威力と
深い御慈愛をもって
私たちを御救いくださいます。

救いの体験

「信徒から寄せられた真実の体験の一部をご紹介します」

悪因縁除滅を願い神様に一心にお仕えする

茨城県在住

川島傳秋菊（60代）

◎離婚・再婚・争い・借金 自分の悪因縁を悟り入会

私は2014年11月、伝道士の宮内優子さんから天心大霊神様のお話を伺い、叔母と本部聖堂に初めて参拝しました。

その時、聖堂の先生から「人には悪因縁というものがあり、それは自分の先祖と前世によるものです。それをお取りくださり、幸福にしてくださいのが、天心大霊神様です」とお聞きしました。

私は、「自分もその悪因縁を取ってもらいたい」と思い、その日に入会しました。

私は、20歳で結婚し、一男二女をもうけました。その後、だんだんと経済的に生活が苦しくなり、夫の借金や暴力、夫と私の親族間での争いに悩み、「このままでは幸福にならない」と思い、離婚しました。

当初、三人の子供たちは、元夫と暮らしていましたが、夫の再婚相手である継母の仕打ちに絶えられなくなり、私のところに逃げて来て、その後、私と一緒に暮らすようになりました。

私は免税店で働きながら、子供たちを育てました。やがて子供も成長し、私は日本で飲食店を経営する叔母を手伝おうと、日本に渡りました。

その後、友人と二人で中華料理店を経営し、その時、現在の夫と知り合い、結婚しました。夫は会社を経営していたため、私は店を閉め、夫の仕事を手伝うことに致しました。

しかし、やがて夫から毎月の生活費を十分にもうけなくなり、その後、夫の会社に多額の借金があることを知りました。

私が苦情を言うと夫は暴力を振るい、私は逃げ、警察に保護されることが何度もありました。精神科にも通いました。

私は今の夫とも前の夫とも、お金や争いで悩まねばならない自分に、運命のようなものを感じていました。

私は本教に入会し、台湾から除籍謄本を取り寄せ、御霊台帳を整え、先生のご指導を受けながら、悪因縁除滅のために、神様に一心にお縋りました。

するとだんだんと生活費に困ることがなくなり、夫の会社の借金も減りはじめ、家計が安定しはじめました。

◎「お前を殺してやる」と叫ぶ夫

その後、私の悪因縁を思い知らされる出来事がありました。



去年の6月17日、夜中に今まで穏やかだった夫が突然、私に向かって「おまえを殺してやる」と叫んだのです。

しかし、翌日、夫はそのことを覚えておりませんでした。その日は私の父方の祖父の命日でした。私は突然、祖父の罪・不徳を思い出したのです。

私の母は一人娘で、婿養子を迎える予定でした。しかし、母と父が知り合い、母が父の家に嫁ぐことになりました。

その時の条件として、「子供が生まれたら、そのうちの一人を、母の実家の跡継ぎにする」ことを父方の祖父が、母方の祖母と約束したのです。

両親が結婚し、やがて双子の男の子が生まれました。

しかし、祖父は二人とも可愛くなり、祖母との約束を破ったのです。

母方の祖母は怒り、自分の先祖に向かって「私の家は絶えることになりました。私の家が絶えるように、婿の家も絶えますように」とお香を焚きながら、呪うように祈ったのです。

するとそれから三か月のうちに、双子の兄弟は、これといった原因もなく、二人とも亡くなってしまったのです。

私は、夫の久しぶりの暴言からこの出来事を思い出し、すぐに祖父の罪を赦していただけるよう神様にお詫びし、祖父の霊界での幸福を祈りました。

それから10日後の6月27日、母の命日に、本部聖堂で特別祈祷を通して、供養いたしました。その2日後、夢を見ました。

そこは神様の裁判所でした。私への神様の判決は「離婚による罪」でした。理由は「私が離婚したことによって、多くの人々を悲しませたため」というものでした。しかし神様は私に「一心に神に仕えるなら、罪は赦される」とおっしゃったのです。

私は夢から覚め、以前聖堂で先生から「二度目

の結婚生活が苦しくても、離婚してはいけない。苦しくとも一切を神様にお任せして精進すれば、悪因縁は除滅され、喜びの人生へ導かれる」と指導を受けたことを思い出し、祖父の不徳とともに、私の深い悪因縁を悟ることができました。

◎台湾支部の設立を目指して

今、私は悩みの多い不安におびえる毎日から、安心の中で将来を楽しめる毎日を送れるようになりました。

夫は現在、高齢のため会社の会長となり、私が社長として、社員と共に会社の発展に努力しています。

神様のお役に立てるよう、多くの人を救ってあげたい思いでいっぱいです。

台湾人の叔母の池田ケリ^{いけだ}と共に、今まで約20名の台湾人を本教へお導きし、去年、「茨城支部 台湾神声会」を発足させることができました。

今、台湾との行き来も自由にできるようになりました。

今後、神様にますます御喜びいただけるよう、布教伝道をたくさん行い、台湾に本教の信徒をたくさん増やして、台湾支部を作ることを目指し、信仰精進してまいります。

ひきこもりの孫が入会3日後に登校

大阪府在住 小谷 栄子（80代）

私の孫娘は大学受験に失敗してショックを受け、心の状態が不安定となり学校に行けなくなりました。部屋に閉じこもり、ついには自殺願望まで抱くようになったのです。

そのような状態が約2年間続き、弟に相談をすると、弟から「今度、我が家で神様の集まりがあるから、そこで一緒に神様をお願いしよう」と誘われ集いに参加しました。その集いで弟は、「神様、姉の孫娘をお救いください」と一心込めてお祈りしてくれました。

するとどうでしょう。その2～3日後に不思議なことが起こりました。2年間、家族と一緒に食事もとらなかった孫が、突然部屋から出てきて家族と食事や会話をするようになったのです。

入会前から奇蹟をお現くださったりびっくりして、すぐに入会をいたしますと、その2～3日後に、また不思議なことが起こりました。

孫が「一人で学校に行く」と言い出したのです。この2年間の状態から考えてこれほど急激な変化は奇蹟としか言いようがありません。ただただ神様に感謝でいっぱいです。

脳腫瘍が、鼻から飛び出て完治

大阪府在住 谷口 悟（80代）

会社の健康診断で左目の視力が急に低下していることが分かり、大病院でCT検査を受けますと、医師より「以前からの肺がんが転移して、目の奥の視神経の周りを巻き込むように腫瘍が出来ています。大変難しい手術ですから、失明を覚悟してください」とのことでした。

私は当時、他宗教に入っておりましたが、そんな私を見た甥が「私の信仰している神様に入れば絶対に治る！」と熱心に話してくれ、夫婦で大阪教会にて入会しました。

私は再検査を受ける前に本部聖堂へ参拝して祈願いたしました。その帰りの新幹線でのこと、洗面所で鼻から長さ10センチぐらいの膿みたいなものが何回か出たのです。さらに再入院の2

日前にも大阪教会へ参拝する途中、また鼻からドロツとしたものが出ました。

その後、再入院して検査手術を受けたところ、腫瘍があつたはずなのに、ただの炎症という、外科医もびっくり、何ともばつの悪そうな説明でした。

術後は大変元気に過ごすことができ、なんと肺がんまで消えてしまい、その後ひと月もたたずに会社に出勤できるようになりました。

車大破の瞬間に奇蹟が起こる

北海道在住 石原保（60代）

仕事先より帰社途中、対向車が突然センターラインを越えてきて、正面衝突されました。衝撃により運転席は大破し、両足が運転台に挟まったため自力では脱出できない状態でしたが、自分は目立った外傷も無く、意識もはっきりとありました。事故直後に駆けつけた方が偶然にも休暇中の消防隊の方で、適切に現場の判断をし、レスキューの手配や救急救命士へ引き継いでくれました。そして数分後、救助され病院に搬送されたのです。現場にも社員が数名いましたが、車の惨状を見て「この事故は、良くて重体、最悪死亡事故だ」と瞬時に思ったそうです。

その日は、発泡ウレタン（建築物の断熱材）のボンを満タンのまま積んで事故にあい、衝突時に

そのボンベが車内で破裂し、首から背中にかけて亀の甲羅の様にウレタンに覆われていたおかげで、ガラス片による負傷も全くありませんでした。実は、かつて父が、私の事故とほぼ同地点で国道に並走する鉄道の列車にはねられ、私の事故当時の年齢と同じ年齢で亡くなっています。この後、御霊台帳に父が記入漏れになっていたことが分かり、すぐに記入し心を込めてご供養しました。

心をこめた御霊供養で、 息子の自殺願望が消える

◎「死なせてほしい」と頼む息子

私の息子は希望した大学へ意気揚々と入学し、2年生までは順調でした。しかしその後は留年を重ねて入学から8年、中退したときにはすでに26歳になっていました。自宅に戻ってからの息子は部屋に引きこもり、家族との会話も少なく、あつという間に2年が過ぎてしまいました。

息子がコンピューターの専門学校に通って資格も取得し、その専門学校の教師として就職したのもつかの間、突然傷だらけで帰ってきて、深々と頭を下げ、「死なせてほしい」と頼むのです。その後、精神科で治療をはじめましたが予断を許さず、目を離すと昼夜を問わずいなくなりました。

長崎県在住 鈴木美澄（70代）

息子を見守る生活が9年間続いたある日のこと、友人の豊福さんの「神様が助けてくださるのに」という言葉を思い出しました。

思わず電話をかけると豊福さんはすぐにかけてくださり、「二男と一緒に長崎仮教会（現・長崎聖堂）へ行つてその場で入会手続きをし、神様にご祈願してくださいました。

それから1か月、ようやく息子も落ちついてまいり、私は先生のご指導のもと御霊台帳を提出して先祖供養を始めました。そして息子は発散の行（心身の健康のために行う修行）、私は朝参りとお籠りを続け、「どうぞ、助けてください」と大神様に必死にお願いしておりました。

◎神様のお姿を拝す

入会して半年ほどたったある日、お祝詞のりとを上げていると不思議なことを体験いたしました。聖堂のような建物の中で、正面に神様が立つておられ、右肩を少し上げられ御霊みたまの方たちを包み込むように両手を広げておられます。そのお姿は背が高く、分厚い麻のような衣をお召しになり、髪の毛は長く肩まであり、私は見た瞬間に「神様だ！」と思いました。

そして御霊の方たちは着物姿で左右に分かれて並んで座っておられ、夫と私の先祖の方々に違いないと直感しました。

このことを先生にお話ししますと、「ご先祖の方々が信仰につかれたことを教えてくださったているですよ」とお教えくださいました。

末期の皮膚がんが完治し、 35年ローンも保険で完済！

◎マイホーム完成直後のがん宣告

入会1年後、夢であったマイホームの土地を探していた時、体の異変に気付きました。生まれたときから左腹にあった大きなほくろにおできが出来ていたのです。病院で検査をすると「ただのほくろ」と言われ、ほっとしました。

それから間もなく気に入った土地が見つかり、順調にマイホームが完成しました。今まで以上に仕事を頑張ろうと張り切っていた矢先、左腹のほくろがまた膨らんできました。

「何かおかしい、ただのほくろがこんなに大きくなるはずがない」と、再び病院で診察を受けると、医師の表情が変わりました。ほくろを全て切

になる御霊の供養をはじめると、ほぼ同時に息子の様子が大きく変わってまいりました。

暗かった表情が明るくなって「おはよう」と声を掛けてくるようになり、ついに車の運転や就職活動を始めるなど、驚くことばかりで家族みんな大喜びでした。

おかげさまで今は息子の就職も決まり、半信半疑だった夫も熱心に信仰に励むようになりました。大神様との御縁を頂くまでの19年間、一日一日が長く、恐怖心との戦いでしたが、救われた今は本当に幸せです。

群馬県在住
緒形祐治おがたゆうじ（50代）

除して再検査をした結果、病名は「メラノーマ」という皮膚がんの一種でした。転移しやすくて進行が早く、死亡率が非常に高い悪性のがんです。すぐにセカンドオピニオンを受けましたが結果は同じでした。しかも、がんは表皮から6ミリの深さまで浸食していたため、転移している可能性が高いと診断されました。

すぐに聖堂へ参拝し、ご指導をいただきますと、先生は「宿命は変えられないが、運命は変えられる。神様は必ずお守りくださる」とご指導くださり、神様に一心にご祈願くださいました。

◎手術の成功と保険金の御手配

手術は、皮膚移植が必要な難しい手術でした



が、大成功に終わりました。数日後、今度は左脇のリンパにがんの転移が見つかりましたが、この転移は遺伝子レベルのわずかなもので済み、奇蹟的お救いを賜^{たまわ}っておりますことを痛感いたしました。

また手術後の抗がん剤治療による副作用の症状はほとんど出ませんでした。

その後しばらくして、住宅ローンの保険会社の人が我が家に来ました。建物の保険に入っているのですが、保険に加入する前に病院で検査をしているので「保険に入る前からがんになっていった」と疑われてもおかしくはありません。仕事にも支障^{さだ}を来^きしますので、最悪は家を手放すことも考えなくてはならず、妻に申し訳ない気持ちと共に、悔しくて仕方がありませんでした。

失業して初めて聖堂へ参拝し、大きな運を賜る

私は内装の職人ですが、勤めていた会社が不景気のあおりを受けて倒産してしまいました。神様を信仰していたのは妻だけで、それまで私は手も合^あわせずにおりましたが、退職を余儀なくされ、独立の当てもなく、切羽詰^{きりふ}まって初めて聖堂へ参拝して先生のご指導を頂きました。

正直、半信半疑でしたが、神様にお縋^{すが}りするしかなく、真剣にお祈りして帰宅すると、内装業を営む友人から人手が欲しいと電話があり、自分の現状を話すと「ぜひ手伝^{てん}ってほしい」と言われ、ほとんど拍子に仕事が決まり、初めて神様のお導きを感じました。新しい職場では、即戦力になれたためリーダーに抜擢^{はく}され、高収入を頂いて苦境を乗り越えることができました。

◎35年の住宅ローンががん保険で完済

しかし数日後、なんと、保険の適用が決まったのです！保険に加入する前の診断が「ただのほくろ」だったことが幸いしたのでした。そしてこの保険金で、35年間支払わなければならない建物の住宅ローンが、1年支払っただけで、完済となったのです！先生がおっしゃったとおり、神様のご守護を賜り、私の運命が変わりました。

医師から「これからは治療の必要はありません。年に一度の検査と3か月に一度の間診だけ来てください」と言っていたいただき、がんと告知された時には想像もできませんでした。現在このように仕事をしながら幸福な日々を送ることができるのは、大神様の御威力^{ごいりよく}によるお救いの賜物^{たまもの}でございます。

東京都在住
丸山紀元（50代）
まるやまのりもと

そして妻と一緒に御礼の参拝をした後、後押しをしてくれる人が現れて独立することができました。すると大手タバコメーカーの、全国の新店舗の内装を依頼され、さらに、大手の衣料品会社がニューヨークに出店する、会社史上最も大きな店舗の内装という、思ってもみなかった大きな仕事が舞い込^まってきたのです。

これが業界で評判になり、次から次へと仕事の依頼が入ってきました。この成功を機に事務所も構えられ、大手建設会社との事業提携という幸運に恵まれ、安定した環境を築くことができました。私を窮地から御救いくださり、さらなる幸福の道をお授けくださった大神様に、心より感謝申し上げます。

信仰に目覚め救われた夫の命

東京都在住 国立玲子（60代）

バンコクに単身で滞在していた夫より突然、「腹部に激痛が走って緊急入院した」という電話が入りました。きちんと信仰していなかった夫ですが、電話口で「神様にご祈願してほしい」と言うのです。

検査結果は、胆管結石を原因とする急性膵炎と急性肝炎で、膵臓の炎症は左肺にまで広がり、胸水が溜まっている危険な状態でした。しかし医師から「これほど肝臓の数値が高いのに、黄疸にならないのは不思議だ」と言われ、神様に一心にご祈願する中、徹底的に感染症対策をしていたことができ、帰国できたのでした。

帰国後、かかりつけの医者に行くと「膵臓の状態がかなりひどく、膵液が漏れてのう胞が出来て

いる。こんな状態でよく死なないで帰国できたね」と言われました。紹介された大学病院で直ぐに検査をすると「膵臓の膵管が途中で途切れて膵液が漏れています。のう胞が細菌感染したら命に関わるので高熱が出たら緊急入院してください」と言われ、さらに「のう胞がなくなるのに半年から1年は掛かる。神様次第だね」と言われたのです。夫に改めて、偉大なる神様にきちんとお縋りするように話すと、夫は聖堂に参拝し、先生を通して神様に病氣平癒を一心にお願いしました。

すると参拝するにつれて病状は回復し、2か月後にはのう胞も小さくなり、感染症も無く、入院せずに短期間で御救いいただきました。大神様の御威力と御慈愛に心から感謝申し上げます。

不可能と言われた手術ができ、末期がんが治る

北海道在住 安藤恵子（70代）

ある日、健康診断を受けた思いに駆られ、近くの病院に行きますと、医師から「胆管がんです。何もしなければ、あと数か月から半年の命です」と告げられ、私は突然の死の宣告に驚くばかりでした。何一つ自覚症状がないので信じられず、突然過ぎて涙も出ませんでした。精密検査の結果、がんは、肝臓の上下・リンパ・門脈・血管にも転移していて「手術はもうできない」と言われました。既にステージ4の段階まで進行していたのです。

そのような時、従姉妹の渡辺美保子さんから大神様の御存在を聞き、藁にも縋る思いで入会しました。入院中のため、聖堂の先生にお電話でご指導をいただくと「病院を変えてください」と言われ、転院しました。転院した病院では、優秀な医

師の執刀により、前の病院で不可能と言われた手術を受けることができました。私は毎日、病院のベッドの上でお祝詞を上げ、神様に一心に御守護をお願い申し上げました。

私のような病状では「手術をしても、早い人は1か月で再発する」と言われましたが、再発も転移もなく過ごしておりました。後日、別のがんが甲状腺に見つかりましたが、動揺することなく全てをお委ねし、甲状腺左葉、右葉の全摘出手術を受けました。手術後は転移も再発もなく、健康な時と何も変わらない生活をしております。

いかなる宿命も大難を小難にしていただき、大神様の御威力による御救いを賜れますことに心より感謝申し上げます。

本教の信仰には、

神秘的に救われる「体験」があります

神様が平吉少年にお姿を現された1892年（明治25年）から今日まで、神様が人々を御救いくださる体験は途切れることなく、今も毎日のように続いています。神様の御救いは病氣、仕事、家庭、その他、人のあらゆる日常生活の中に現れ、神様は人を幸福へと導きくださっています。

幸福な毎日を送るための「教え」があります

開祖島田晴一先生「1896年（明治29年）―1985年（昭和60年）」は、神様より『晴一、汝（な）身（み）命（いのち）を賭（と）して宗教を改革し、宗教と人生に新生命を与えて、世界人類を救済せよ。我が守護してつかわす。』とのご使命を受け、実業家から宗教家に身を転じました。1951年（昭和26年）に本教を開教以来、89歳で逝去されるまで人類救済の道を全うし、昼夜を問わず神様から下賜された御神示は数知れず、宇宙の真理に基づく教えや訓話が本教の教義の根幹を成しています。

神様より幸福を授かるための「個人指導」があります

神様に願いを叶えていただくためには、心からの祈りとともに、正しい信仰方法に従うことが大切です。もしも神様に幸福を授けていただけるのか、それを教え導くのが教師の役割です。

教師はご相談にいらした方に対して、神様の御心に照らして適切な助言をし、一日も早く皆様のお悩みが解決しますようにご祈願をいたします。本教に入会されていない方でも、教師へご相談いただくことができます。病氣・経済的問題・ご家庭の問題など、どのようなことでも、ご相談のある方は、どうぞお越してください。

※詳しくお聞きになりたい方は、ご紹介者または全国の聖堂・教会にご遠慮なくお問い合わせください。（全国の礼拝施設の場所・連絡先は最終頁に掲載しております。なお、開門日は通常1日、11日、21日を除く木曜日です）

入会について

Q. 入会していなくても指導は受けられますか？

受けられます。未入会の方の祈祷料は必要ありません。紹介者と一緒にいらっしゃるか、または紹介者のお名前を受付でお伝えください。紹介者がいない方は本部聖堂、各地聖堂または教会までご相談ください。

Q. 入会するにはどうしたらいいですか？

紹介者と一緒に本部聖堂、各地聖堂または教会に参拝し、入会申込書に必要事項を記入して、おふだ祈祷料＋当年度年会費合計11,000円を納めた後、おふだを拝受して入会となります。また入会時に教書や信仰の手引、祝詞本などをお渡しします。

Q. 年間にかかる費用は幾らかかりますか？

- 年会費 5千円（一般会費）
- おふだ 6千円 お守り 千円 交通お守り 6千円
- 合同御霊祭 供養料 6千円（1年分）
- 一般供養 2千円（人数ではなく、1回の供養料となります）
- ご指導の祈祷料はご任意です。

Q. 他の宗教をしていますが入会できますか？

できます。信じる対象は違っても、その信じる心が、やがて天心大霊神様に結ばれ、今までの信仰も生きるでしょう。

お問い合わせ先 天心聖教 本部聖堂 03-3946-1721

「由来」二巻をお読みになりたい方は、お電話・メールにてお申し込みください。
未信徒の方お一人様1冊をお送りいたします。(送料無料)

●未信徒の方に進呈いたします。

(188X128mm) 310頁



天心聖教の起源から開教までをまとめた
「由来」一巻



平古少年が神様と過ごした納屋
(埼玉県加須市大越)

どうぞお気軽にお声掛けください。

天心聖教本部聖堂 電話 03-3946-1721
E-mail : ho@tenshin-seikyo.or.jp

天心聖教 各地礼拝施設のご案内



本部聖堂(東京)

〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-10-21
Tel 03-3946-1721 Fax 03-3944-5040
http://www.tenshin-seikyo.or.jp
E-mail : ho@tenshin-seikyo.or.jp

天心聖教ホームページ

二次元コード



長崎聖堂

〒852-8144
長崎県長崎市女の都 3-5-16
Tel 095-840-0400
Fax 095-844-7747



大阪教会

〒545-0013
大阪府大阪市阿倍野区長池町 10-6
Tel 06-6628-4855
Fax 06-6628-4866



聖地大越礼拝堂

〒347-0001
埼玉県加須市大越 2439
Tel・Fax 0480-68-6148
(管理事務所)



函館礼拝堂

〒041-0835
北海道函館市東山 1-15-1
Tel 0138-83-8381
Fax 0138-83-8382



山形礼拝堂

〒994-0016
山形県天童市東久野本 3-3-38
Tel・Fax 023-654-8540



四国礼拝堂

〒769-2606
香川県東かがわ市水主 2067-31
Tel・Fax 0879-23-0073



大分礼拝堂

〒870-0101
大分県大分市中鶴崎 2-6-19
Tel・Fax 097-527-3319



沼津教会

〒410-0822
静岡県沼津市下香貫林ノ下 2068
Tel 055-932-7999
Fax 055-934-1060



諫早教会

〒854-0001
長崎県諫早市福田町 46-32
Tel 0957-22-2227
Fax 0957-24-0914



札幌礼拝堂

〒061-1103
北海道北広島市虹ヶ丘 8-2-1
Tel・Fax 011-375-9212



仙台礼拝堂

〒989-3122
宮城県仙台市青葉区栗生 6-2-1
Tel 022-391-8944
Fax 022-392-7435



伊勢礼拝堂

〒511-0264
三重県いなべ市大安町石榑東 1860-5
Tel 0594-78-1356
Fax 0594-78-1920



今治礼拝堂

〒799-1522
愛媛県今治市桜井 2-6-4
Tel 0898-52-7897
Fax 0898-52-7898

天心診療所(東京)

〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-11-9
予約・お問い合わせ 03-3944-5086

諫早天心診療所

〒854-0001 長崎県諫早市福田町 46-32
お問い合わせ 0957-22-5535 毎週火曜日診療